report 5

「めぶくアートプロジェクト」
秋田に続き、気仙沼・NYで開催。

「3.11東日本大震災」をきっかけに、東北6県と関西の人と地域がつながり、「希望・夢・愛」を一人一人の思いや願いを束ね国内外へ発信しようと、神戸在住の山之内理枝（現代美術作家）の呼びかけで立ち上がった「めぶくアート展」。KDA有志が実行委員会の要に就き、2011年11月の第1回「秋田＋関西」に続き、2012年3月には「宮城県気仙沼＋秋田・関西＋NY」がニューヨークのNPO法人JaNet会館と、気仙沼の復興屋台村気仙沼横町店舗および気仙沼プラザホテル（ロビー）で連続開催しました。気仙沼の展示にはKDAから久谷政樹、大石義一、秋田から官能右泰会員、賛助会員の北嶋正、森川恒、後藤博行会員が協力しました。（出品者：久谷政樹、大石義一、奈良磐雄、大野好之、藤原義明、官能右泰、森川恒）

第3回は仙台で開催を計画しているため、2012年8月、KDA久谷、大石、川口、奈良の4名と、山之内理枝プロジェクトリーダーが仙台空港で秋田の後藤会長と合流、会場候補の「東北電力グリーンプラザ」を視察。車で気仙沼の復興屋台村から気仙沼市内、陸前高田周辺を訪問、秋田へ回り「竿燈祭り」を官能会員のアレンジで秋田市長と一緒に一等席から見学させていただきました。

新人さんいらっしゃい

正会員
岡本 一真さん
一級建築士

専門分野 建築設計
プリヤデザイン一級建築士事務所　代表
専門分野　建築設計
1974年生まれ。
京都大学大学院工学研究科 建築学専攻 博士前期課程修了。

本年度から京都デザイン協会に入会しました岡本一真です。五条大橋の袂で建築設計事務所を営んでおります。
以前より土居英夫理事からKDAの活動をご紹介いただいておりましたが、2011年の京都デザイン賞入賞をきっかけに入会いたしました。
KDAの活動を通して京都の文化やデザインを学びながら、人々に感動してもらえるような建築の実現を目標として活動していきたいと思っております。
ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

京都和文華の会主催《KDA協力》
伝統音楽の魅力を探る・レクチャーコンサート　Vol.8

雅楽はおもしろい

●平成24年12月11日（火）
●京都府立文化芸術会館

京都和文華の会が主催する、「伝統音楽の魅力を探る・レクチャーコンサート」の第8弾として、「雅楽」のレクチャーコンサート」が京都府立文化芸術会館で行われました。KDA協力。雅楽の全体を概観したのち、特に外来系の唐楽に焦点をあて、それぞれの楽器がどのような個性を持ち、それらが組み合わされて合奏となると、どんな響きが紡ぎ出されるのか、などが解説されました。

「ぬくもり京都丹波」デザインアドバイス事業パートナーの一つ

「第三かめおか作業所」の製品が「スィーツ甲子園」で「特別賞」受賞

当協会の藤原副理事長協力の「カッパのおきみやげ」が特別賞を受賞しました。第三かめおか作業所・日下部育子さんから次のように喜びの声をいただきました。『16事業所の製品は、どれも洗練されたものばかり。そんななか、ナント、「カッパのおきみやげ」は特別賞（グランプリ、準グランプリの次）をいただきました！！』

京からかみ

めくるめく伝統の世界へ

壁紙に、襖紙に、四季折々の京からかみを展示したギャラリーで、ライフスタイルに合わせた住まいづくりを応援します。ぜひ足を運んでください。

襖材料全般・表具材料全般

株式会社　丸二

〒600-8076　京都市下京区高辻通堺町東入ル 泉正寺町 462
TEL:075-361-1321 FAX:075-361-8876
http://www.maruni-kyoto.co.jp

LOOK! KDA

KYOTO DESIGN ASSOCIATION

http://www.kyoto-design.net/

2013 冬 vol.6

2012年　2月～12月のご報告

社団法人 京都デザイン協会
〒604-8247
京都市中京区塩屋町39
TEL:050-3385-8008
FAX:050-3385-8009
E-mail:info@kyoto-design.net

2013年 1月1日発行

あけましておめでとうございます。
本年も変わらぬご愛顧、ご協力のほど
よろしくお願いいたします。

report 1

第32回京都デザイン会議　●日時＝平成24年2月17日（金）　●場所＝旅館 銀閣

「京都デザインナーの未来デザイナーと企業の出会い」を開催

デザイナーと企業の間の新しい『芽生え』に期待。

今回は、「京都デザイナーの未来　デザイナーと企業の出会い」ということで、デザイナー側から（株）グッドマン／裏具　代表取締役　大野好之氏［アートディレクター］、（株）メディアホワイト 代表取締役　藤原義明氏［グラフィックデザイナー・プロデューサー］のお二人、企業側から（株）尚雅堂 代表取締役　松尾安浩氏、（株）丸二　代表取締役 西村和紀氏のお二人そして特別ゲストとして2011京都デザイン賞から大賞受賞者の㈱七條 鮒定 専務取締役　木下敬晴氏と京都府知事賞受賞の西陣田中伝 代表 田中慎一氏をお迎えして、社団法人京都デザイン協会 副理事 大石義一氏［京都造形芸術大学客員教授］の司会進行によって、平成２４年２月１７日（金）の１５時からインターナショナルアカデミーの特別一般講座を提供している旅館　銀閣の会場をお借りして開会させていただきました。

本当の意味で政治・経済の戦後体制が終焉を向かえ、新しい体制（動き）に移行する過渡期の中でデザイナーも企業も新しい価値観・方向性を模索していますが、なかなか糸口を見つけられない状態が続いています。景気が良い時は、デザイナーと企業がどうあるべきか考えなくても、経済（仕事）は動いていました。特に京都は中小企業が多く、仕事の流れ（ヒエラルキー）が長い歴史の間に確立されてきた経緯がありますが、近年のデフレによりその仕事の流れが壊れてしまい各自それぞれ高い技術を持っているにも関わらず、迷走しているのが今の京都の現実です。昔の「問屋がしっかりしていて、図案家から各職にわたる一つの流れ」があった時代と違い、その流れが壊れている今の状況では、図案家（デザイナー）と各職（中小企業）を繋ぐものは何なのか？このような状況になってしまった今だからこそデザイナーも企業も真剣に向き合う必要があるように思いますし、世界の歴史から見ても、このような状況下に新しい何かが生まれてくるのでしょう。

今回の京都デザイン会議では、このことに焦点を当て、それぞれの意見をぶつけ合った中から、新しい動き（覚悟）が京都に芽生えてくることを願っています。デザイナーと企業の出会いを作ったり構築する意味でも（社）京都デザイン協会をはじめとする京都デザイン団体協議会が間屋に代わる新しい役割を担っていかなくてはならないというか、担ってゆくべきだと思っています。そのような意味でも今回のデザイン会議はパネラーや参加者はもちろんのこと企画運営しています我々にも多くの課題を与えてくれたものと再認識しております。